

## 令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【＝Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	150	47	39	9.4	16.7
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア	
	理科	
学校	444	
大阪市	489	
全国	503	

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

### 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	145	59.2	45.2	49.8	40.0	46.3	8.3	8.0	14.0	12.9	9.8
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4

※ 3年生の理科はB問題を選択

令和7年度 西淀中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞

平均正答率は大阪市より5ポイント低い。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべてにおいて、大阪市の平均正答率に達していない。平均無解答率は大阪市より2.6ポイント高い。

＜数学＞

平均正答率は大阪市より7ポイント低い。「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべてにおいて、大阪市の平均正答率に達していない。平均無解答率は大阪市より5.5ポイント高い。

＜理科＞

大阪市と比較して、IRTバンド1と2の割合が高く、IRTバンド4と5の割合が低い。

＜生徒質問紙＞

「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問に対する回答において、ICT機器の使用頻度が全国・大阪市より高い。

○チャレンジテスト(3年生)

＜国語＞

大阪府と比較して、平均点は5.0点低く、平均無解答率は1.5%高い。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべてにおいて課題がある。

＜社会＞

大阪府と比較して、平均点は6.0点低く、平均無解答率は1.5%高い。地理的分野、歴史的分野ともに課題がある。

＜数学＞

大阪府と比較して、平均点は4.1点低く、平均無解答率は1.9%高い。知識・技能の観点に関する問題に課題がある。

＜理科＞

大阪府と比較して、平均点は6.0点低く、平均無解答率は1.9%高い。特に、思考・判断・表現の観点に関する問題に課題がある。

＜英語＞

大阪府と比較して、平均点は6.9点低く、平均無解答率は2.4%高い。選択式の問題は弱い、短答式は大阪府平均とほぼ同じである。

【今後に向けて】

授業規律が守られた学習環境ではあるが、生徒の学力面において十分な成果は出ていない。今後も授業規律を確保しつつ「主体的・対話的で深い学び」を進め、より一層の授業改善を行い生徒の学力向上に努める。

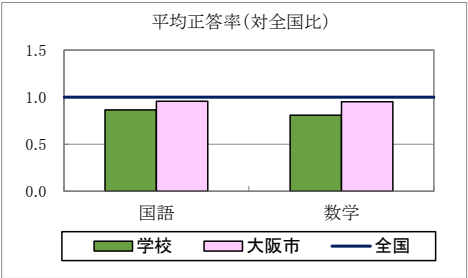
今後も引き続き授業改善と充実に取り組み、習熟度別学習やチームティーチングの工夫、ICTの活用をさらに進めたい。また、授業や学級活動などにおける生徒間での話し合う活動を通じて、生徒自身が考えを深めたり、広げたりできるようにしたい。

令和7年度 西淀中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

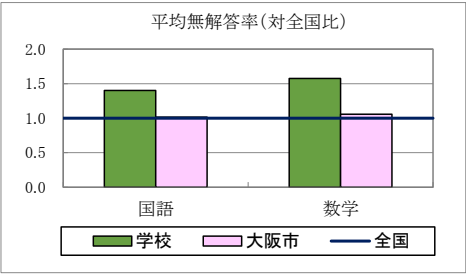
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	47	39
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

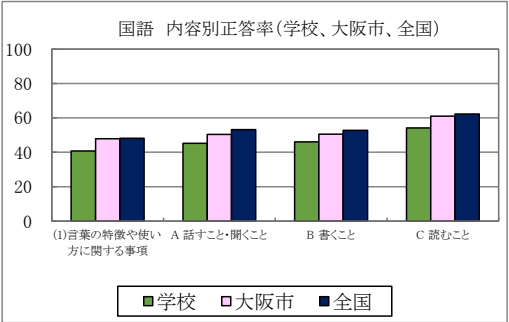


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	9.4	16.7
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



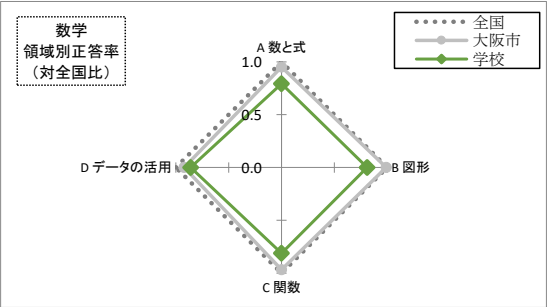
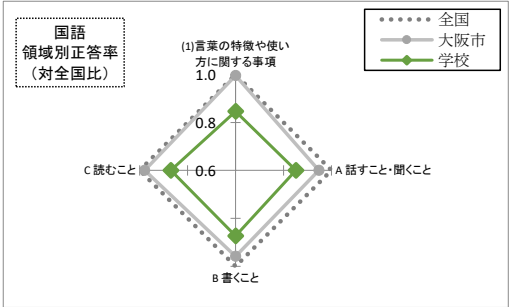
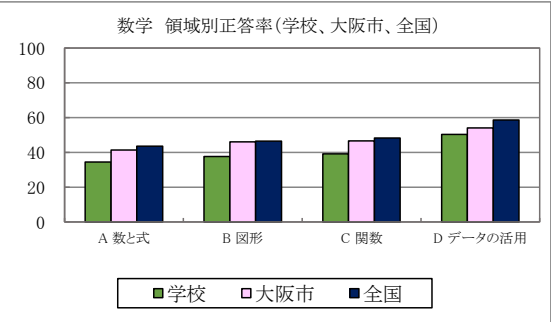
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	40.7	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	45.3	50.4	53.2
B 書くこと	5	46.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	54.2	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	34.5	41.4	43.5
B 図形	4	37.7	46.1	46.5
C 関数	3	39.1	46.6	48.2
D データの活用	3	50.4	54.0	58.6

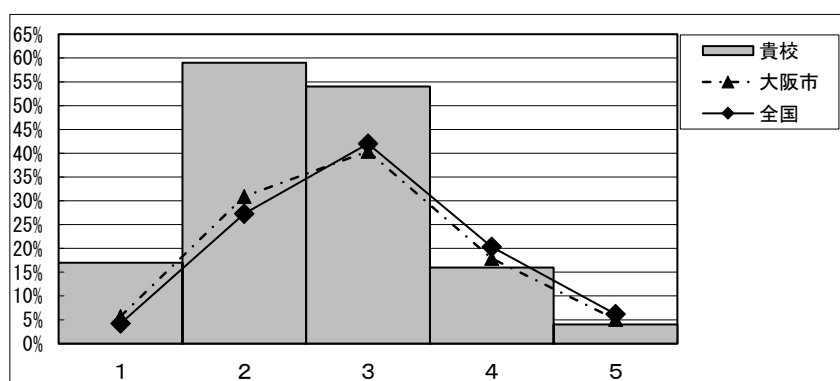
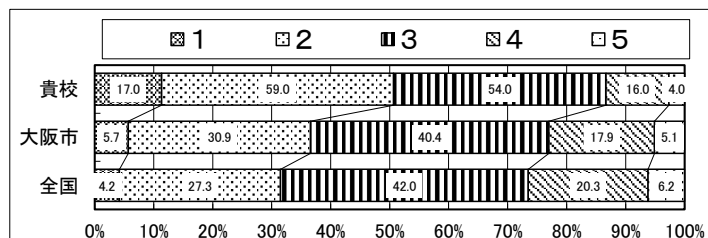


令和7年度 西淀中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	444
大阪市	489
全国	503



# 令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

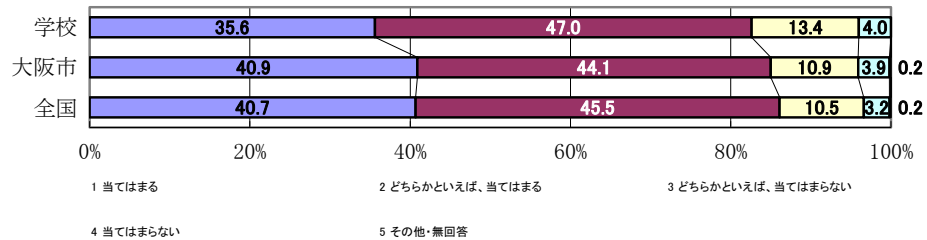
## 生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

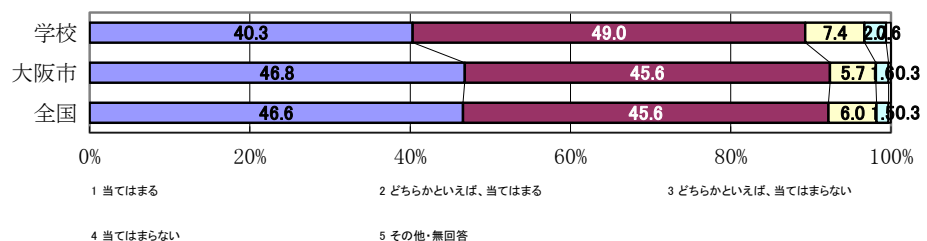
5

自分には、よいところがあると思いますか



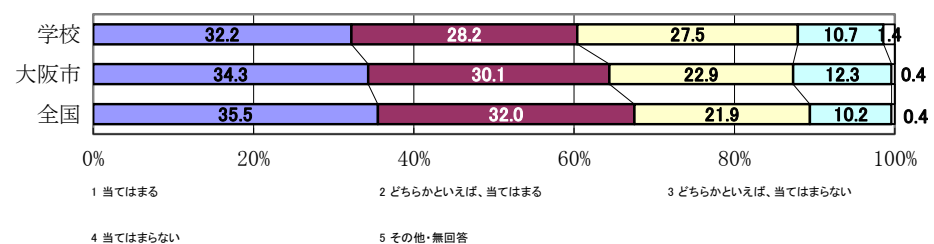
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



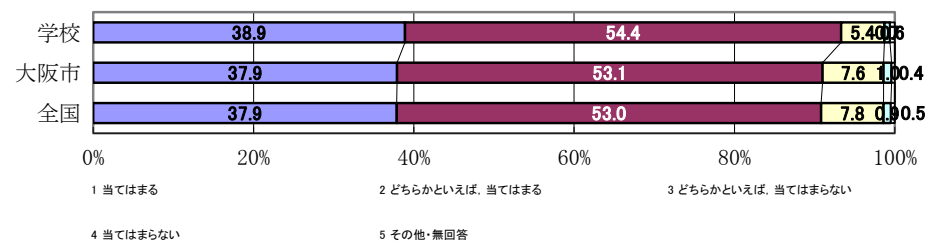
7

将来の夢や目標を持っていますか



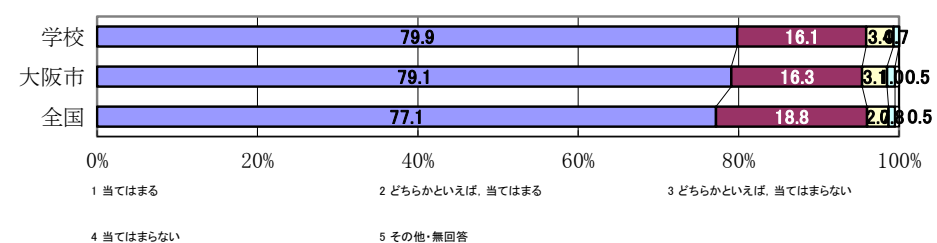
8

人が困っているときは、進んで助け  
ていますか



9

いじめは、どんな理由があってもいけ  
ないことだと思いますか



# 令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

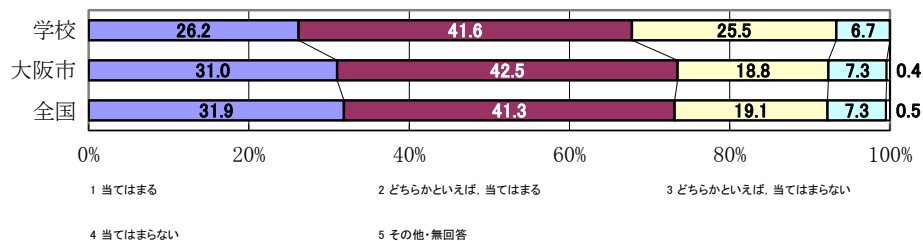
## 生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

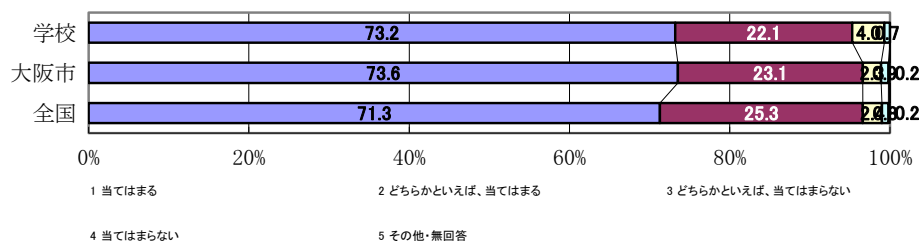
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



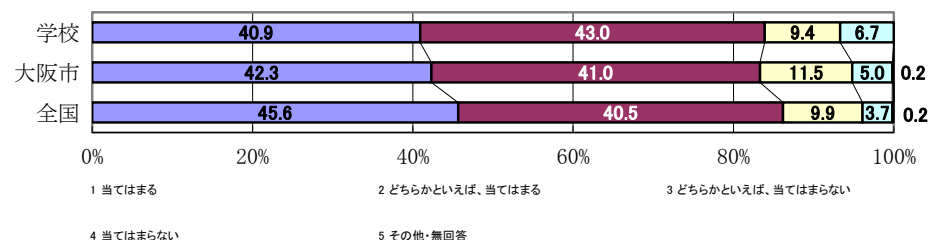
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



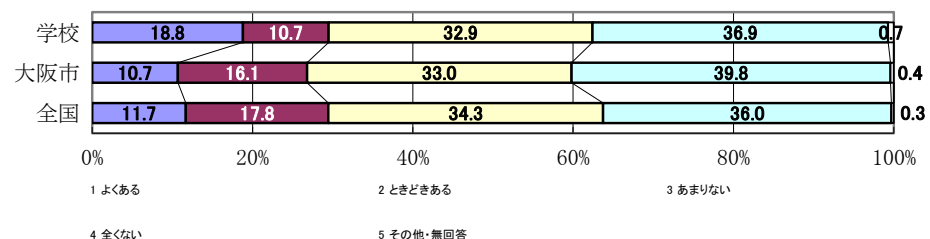
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



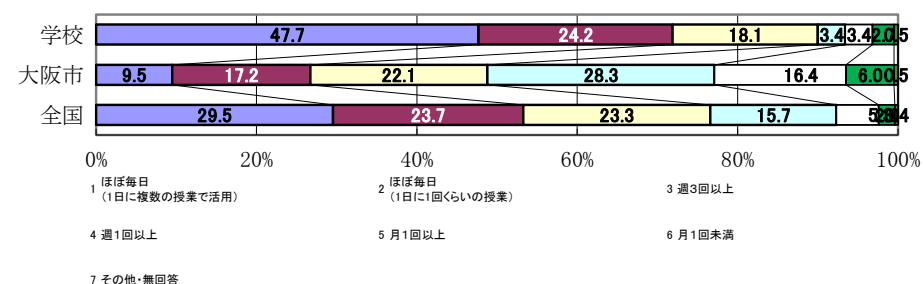
26

地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)



28

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



# 令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

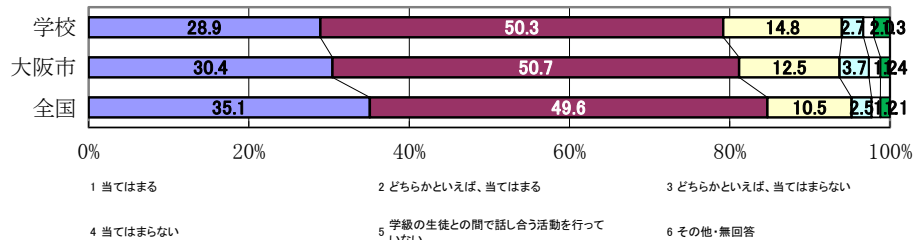
## 生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

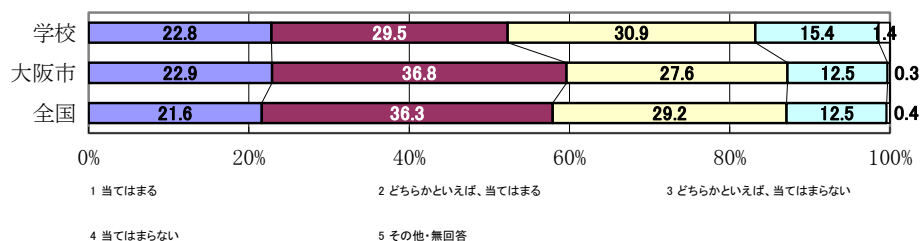
35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



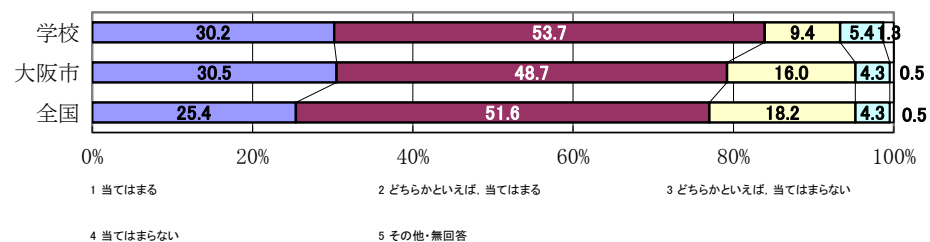
45

国語の勉強は好きですか



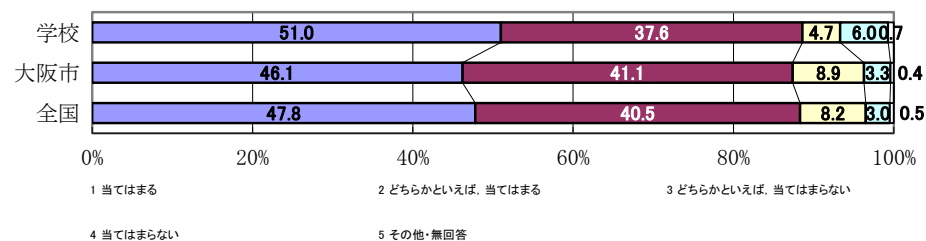
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



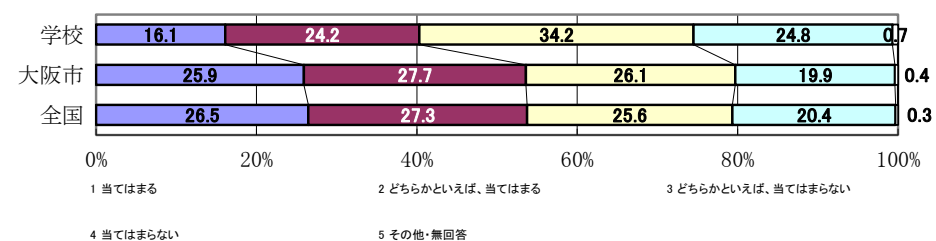
47

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



53

数学の勉強は好きですか



# 令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問より

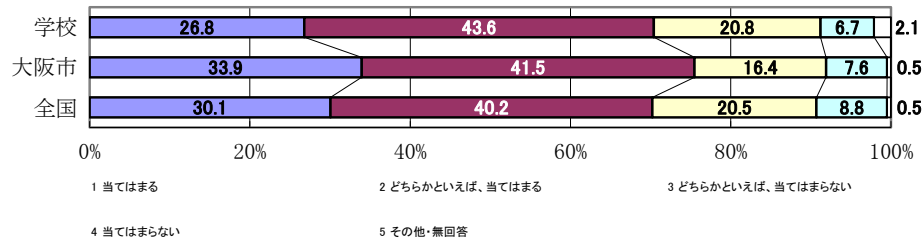
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

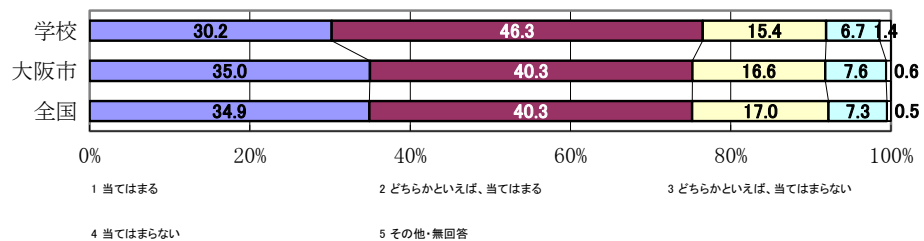
54

数学の授業の内容はよく分かりますか



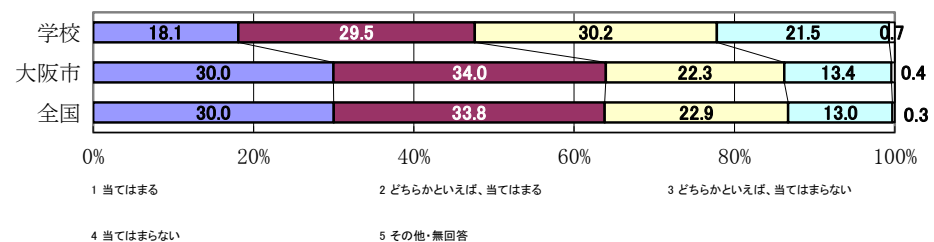
55

数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



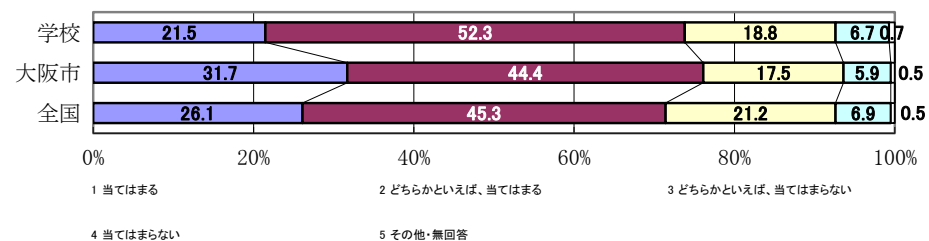
61

理科の勉強は好きですか



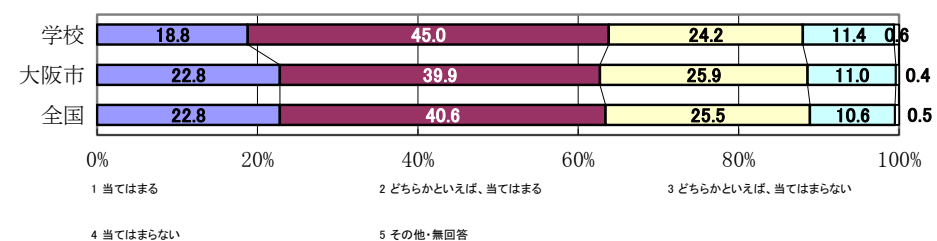
62

理科の授業の内容はよく分かりますか



63

理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか





# 令和7年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

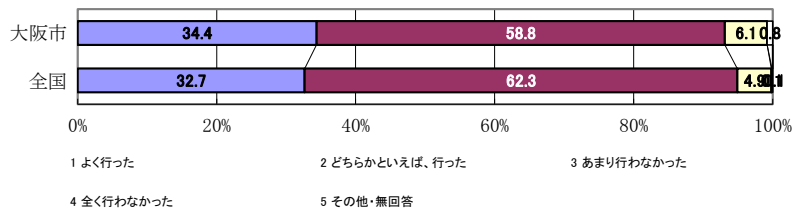
質問番号

質問事項

31

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

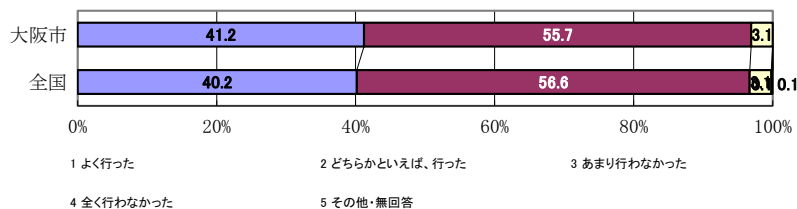
学校 「よく行った」を選択



41

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して生徒のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか

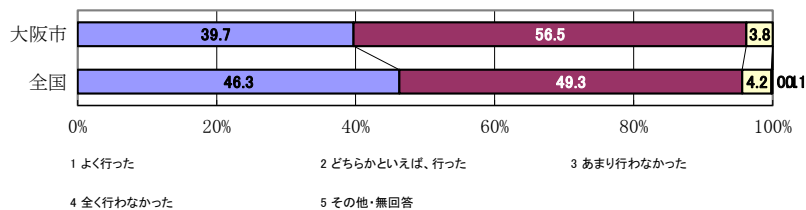
学校 「よく行った」を選択



47

調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

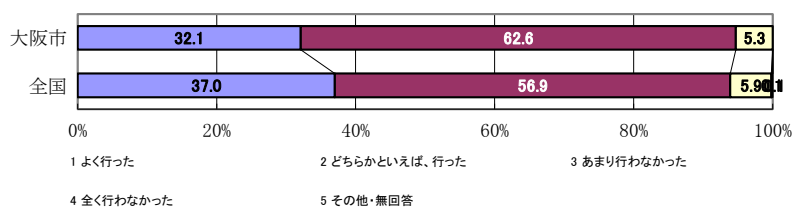
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



51

調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか

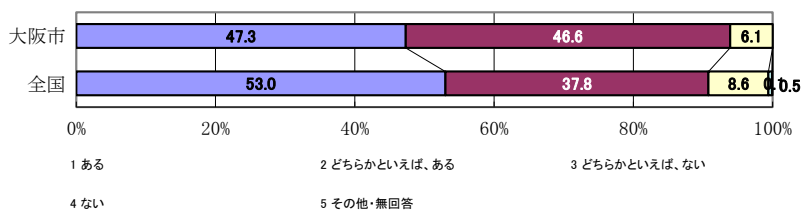
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

学校 「ある」を選択

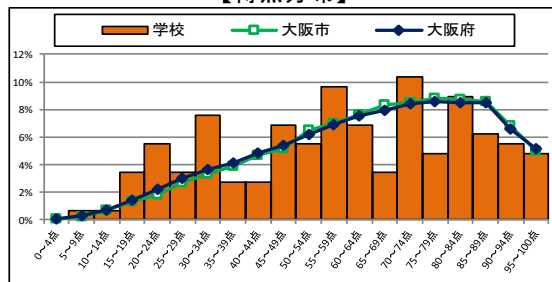


大阪市立西淀中学校 令和7年度「中学生チャレンジテスト(3年生)」検証用グラフ

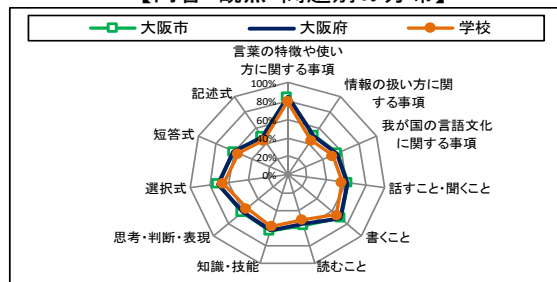
令和7年9月2日(火)実施

【国語】

【得点分布】

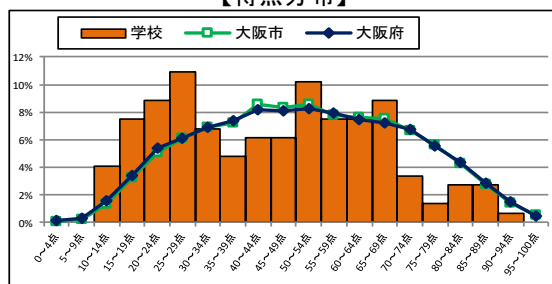


【内容・観点・問題別の分布】

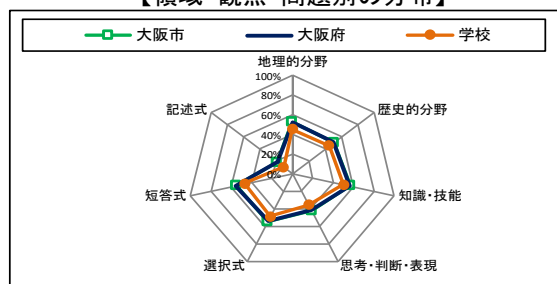


【社会】

【得点分布】

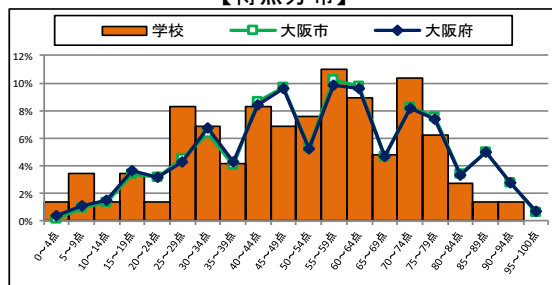


【領域・観点・問題別の分布】

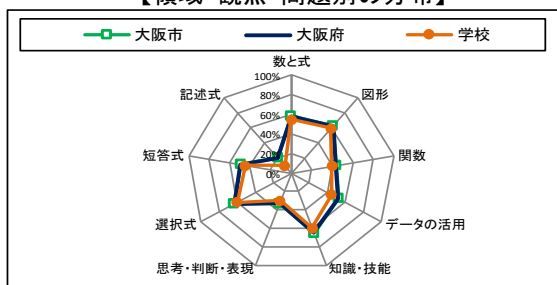


【数学】

【得点分布】

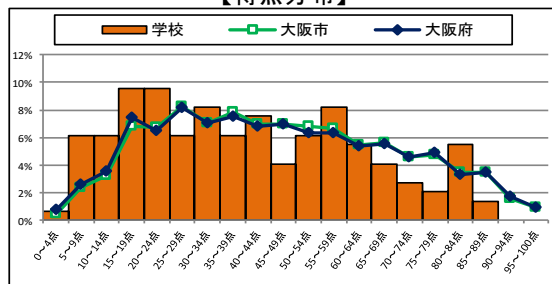


【領域・観点・問題別の分布】

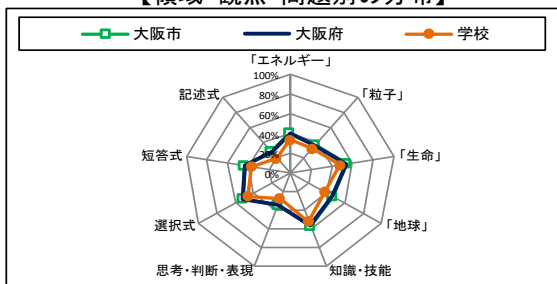


【理科B】

【得点分布】

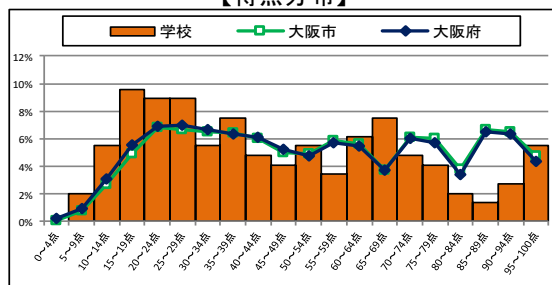


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

